

美術科（2 学年）

週時間数 1 時間

1 学習の手引き

使用教材	・「ゼンタングル」【デザイン】 ・「BOXアート」【立体作品】 ・「構想画」【水彩】※下絵まで	持ち物	・連絡した物は絶対忘れないこと。 (絵の具セット、クロッキー帳、教科書などは学校保管)
学習の進め方	学 校	・持ち物などしっかり準備をして、授業に臨みましょう。 ・説明や注意点を良く聞いて、制作に生かしていきましょう。 ・制作には、「発想力」「集中力」「こだわり」「感性」を発揮していきましょう。 ・後片付けまで、きちんと行い、忘れ物などないようにしましょう。	
	家 庭	・前日までに、持ち物の用意を確認して、授業の準備をしっかり行いましょう。 ・夏休みなどを利用して、絵は2学期の2時間で完成できる所まで進めておきましょう。 ・BOXアートの材料集めは重要ですので、意欲的に活動しましょう。(宿題)	

2 学習の内容

学期	月	題材（学習する時間）	学習内容	備考（評価のもの）
一学期	4月	・「ゼンタングル」【デザイン】	・1年での練習を生かしてデザイン。	・1枚目の作品
	5月	(11時間)	・画用紙に下絵。	・着彩練習プリント
	6月	→ポスターカラーの練習	・ペン書き。	
	7月	→ペン書き →2枚目の構想から制作 →制作の途中まで	・ポスターカラーで着彩。 ・2枚目も同じように制作。 ・鑑賞。	・ゼンタングル途中の作品 ・つなげる作業
		<夏休み> ※2時間あれば完成できる所まで家で進めておく。(ゼンタングル)		
二学期	9月	・「ゼンタングル」→完成(2時間)	・ゼンタングルの完成。	・ゼンタングル完成
	10月	→展示準備(1時間) (・自習があれば1時間)	・展示準備、提出。 ・こども県展や総合展などに出品。 (・模写…自習の時など)	・提出期限厳守 ・県展などの結果 (・自習プリント)
	11月	・「BOXアート」【立体作品】(9時間)	・箱の組み立て。	・材料集め(宿題)
	12月		・背景作り、脇役、主役作り→接着。	・途中作品
		<冬休み>		
三学期	1月	・「BOXアート」→完成(1時間)	・粘土作品の完成、評価。 ・BOXアートの制作カード。	・立体作品の完成 ・制作カード
	2月	・「構想画」【水彩】(6時間)	・構想画のアイデアスケッチ。 ・マーメイド紙に下絵。	・アイデアスケッチ ・構想画下絵
	3月	※下絵まで(早い人で着彩)	・今年度のまとめ。	・途中作品

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	主に評価するもの
知識・技能	・制作の注意をよく聞き、意欲的な制作ができる。 ・美術の基礎的能力を身につけ、表現意図に合う多様な表現方法を創意工夫し、美しく、根気強く表すことができる。	・デッサン力 ・技法の活用 ・完成作品の表現力
思考・判断・表現	・感性や想像力を働かせ、良さや美しさを感じ取ることができる。 ・用途や機能を考え、豊かに発想し、構想する能力を身につける。 ・形や色の構成などを考え、自分らしく心豊かな表現の構想をする。	・アイデアスケッチ ・個性的な発想力 ・表現の工夫
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く表現を工夫し、今までの学習を生かして試行錯誤して、自らの学習を調整しながら、作品制作に向けて自主的に取り組んでいる。(チャイム着席、用具の準備・片付け、提出物期限を守る、等を含む)	・授業への取り組む姿勢 ・用具の準備や提出期限 ・作品技術の向上